

SMN株式会社様における 公共空間に設置された「テレキューブ」の活用法

デジタル・マーケティングの分野を中心に、幅広い事業ドメインを手掛けているSMN。コロナ禍における様々な事業展開を支えているのは、Web会議やテレワークによる社員の柔軟な働き方であり、商業施設、オフィスビル、駅などの公共空間に設置された「テレキューブ」の活用頻度も増えている。

周囲を気にすることなく外出先でWeb会議を実施

優れた防音・遮音性能

Web会議が浸透したことで、急遽15分間のミーティングを行ったり、画面共有をしながら簡単なレクチャーを短時間で済ませるシーンも増えている。

商業施設やオフィスビル、駅などの公共空間への設置が拡大している「テレキューブ」は、防音性・遮音性に優れているため、機密性の高い内容のWeb会議でも、周囲を気にすることなく実施できる。



集中したいときやスキマ時間の有効活用に



電源などの設備が標準装備

単にWeb会議ができる場所というだけでなく、「誰にも声をかけられずに仕事に集中したい」といったシーンなどでも活用でき、移動中のスキマ時間の有効活用にも。

すべての「テレキューブ」には電源やUSBポートが設置されている他、無料で使用できるWi-Fiについてはすでにいくつかの拠点で実験的に設置をしておき、最終的には全ブースに設置されている環境を作っていく。

(※2021年3月ごろをめぐりに設置開始予定)

法人利用は4つのプランから選択可能

「基本の利用時間+従量課金」のほか 「IDごとに4時間利用」のプランも

法人登録の場合、使い方に合わせて4つのプランから選択可能。最も長い利用時間を想定するケースでは、100時間の利用権を社内全体でシェア(ID数は無制限)する「基本+従量プラン」が用意されている。それほど長時間利用しない場合や利用する人の数(IDの数)が限られている場合は「従量プラン」もしくは「ID料金プラン」が適している。

基本+従量プラン(ゴールドプラン)	基本+従量プラン(スタンダードプラン)
80,000円/法人 100時間分の利用権付き	250円/15分 15分単位料金 最低料金3,000円
基本+従量プラン(シルバープラン)	ID料金プラン
50,000円/法人 59時間分の利用権付き	3,000円/ID 4時間分の利用権付き

※料金は消費税別

SMN株式会社 様

ビルや商業施設などに設置された「テレキューブ」を法人契約 プライベートな集中空間で外出先でのWeb会議もセキュアに実現



コロナ禍で広がるWeb会議をより柔軟に 外出先の「テレキューブ」を全社で利用

セキュアな防音環境で作業効率もアップ 機密性の高いWeb会議も安心して開催

「経費精算×社員数」をシンプルに 法人契約で簡単精算&コスト低減



TELECUBE®

SMN株式会社様が採用したテレキューブとは？

オフィスビルや商業施設、駅などの公共空間に設置された、防音性のある個室型ワークブース。個人利用だけでなく、法人登録による月額プランがあり、全国各地の「テレキューブ」を利用可能

Corporate Data

SMN株式会社

ソニーグループのマーケティング・テクノロジー会社として、最先端技術を活用した広告配信サービスを提供している。ソニーの研究所で培われた技術をベースとした人工知能「VALIS-Engine」などにより、高精度なデータ分析を可視化するとともに、デジタル・マーケティング施策の最適化、効果最大化を多くの広告主に提案している。

■設立 2000年

■URL
<https://www.so-netmedia.jp>

導入事例：SMN株式会社 様

コロナ禍で広がるテレワークを全社でさらに推進 外出先でもセキュアなプライベート空間を活用

マーケティング・テクノロジー会社としてソニーグループの一角を担うSMNでは、新型コロナウイルスの感染拡大でWeb会議が急増。社員のテレワークも推進していたが、会議の内容によっては機密情報にふれることもあり、テレワーク環境のセキュリティに懸念があった。同社では、商業施設やオフィスビル、駅などの公共空間に設置されている全国の「テレキューブ」を利用できるサービスに法人登録。防音対策がなされたテレワーク専用の環境でセキュアなWeb会議を全社員が気軽に利用できるようになった。法人契約で経費精算にかかる手間と時間コストの削減にもつながった。

従来のテレワーク環境における課題

- 1** コロナ禍で **Web会議が急増**
テレワークが必須になったことで、Web会議も急増。一方で、適切なテレワーク環境にアクセスできない社員も。
- 2** 環境によっては **セキュリティに不安**
カフェなどでテレワークに利用する社員が増えていたが、Web会議の内容によってはセキュリティ上の懸念が生じていた。
- 3** コワーキングスペースは **コストがかさむ**
コワーキングスペースも契約しているが、Web会議の内容によっては周囲に他の利用者がいない別料金の会議室を予約するケースも。

「テレキューブ」でこう解決！

公共空間の「テレキューブ」を全社員が活用できる体制に

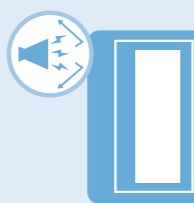
「テレキューブ」は全国各地のオフィスビルや商業施設、駅などを中心に設置台数が急増しており、テレワークの場としての活用に適している。



テレワークがマストとなる中、出張先や出張先、自宅近くなど、さまざまな環境で社員が気軽にWeb会議や業務を行えるように。スキマ時間の有効活用にも。

防音対策がなされているので周囲を気にせずWeb会議を実施

機密性が高く防音性・遮音性に優れているので、周囲に聞かれたくない内容のWeb会議も安心して行うことができる。



防音性能の高さから「テレキューブ」は集中したい作業にも最適。周りの音を気にせず安心して業務を行えるので、作業効率・生産性向上にもつながる。

15分250円の利用料であるため低コストで利用可能

利用予約・精算は15分単位から可能なので、無駄なく利用できる。また、法人登録では4プランが用意されており、利用頻度や利用時間に合わせて選ぶことが可能。



SMNでは「テレキューブ」契約以前から、各地のコワーキングスペースを利用できるサービスも法人契約しており、Web会議のために単価の高い会議室を別料金で利用するケースもあったが、「テレキューブ」によりコスト削減効果も見込まれる。

Point of Selection

「テレキューブ」選定のポイントは？

- セキュアな環境でWeb会議ができるか？**
周囲への音漏れなどの心配なく、機密性の高いWeb会議を行うことができること。
✔ 防音性・遮音性があり、高い機密性を確保
- 誰もが簡単にアクセスできるか？**
地理的な要件に加えて、予約システムが簡単であること。
✔ ビルや商業施設、駅などの公共空間での設置が急増中
✔ スマートフォンで簡単に予約やロック解錠
- コスト削減につながるか？**
リーズナブルな料金体系により、コストを抑えられること。
✔ 15分単位なので利用時間を無駄なく活用できるほか、法人契約は請求書払いでの精算も可能

User's Voice

テレワーク専用のプライベート空間のメリットを痛感

以前は、仕事はオフィスでという固定観念があり、外出先にテレワークができる場所があることのメリットが理解できていませんでした。しかし新型コロナウイルスの感染拡大に伴ってクライアントとの打ち合わせなどが対面で一切できなくなり、必然的にWeb会議ができる場所を探すようになりました。そんな中で初めて「テレキューブ」を利用して、単にWeb会議ができる場所というだけでなく、仕事にとっても集中できる空間でもあると気づきました。

それ以前はカフェなどで仕事をすることも多くありましたが、やはりWeb会議はしにくいという、機密情報について話す際にはセキュリティ面で不安があり、重要な打ち合わせはできないことも事実です。また用途が異なる施設は、例えばカラオケボックスなどではやはり集中しにくいものです。そうした点で、テレワーク専用のセキュアなプライベート空間が出張先や外出先にあることのメリットを痛感し、2020年4月に最初の緊急事態宣言が出された際には、私自身はもちろんですが、社員にも「テレキューブ」の利用を積極的に促しました。

私の場合、当初はWeb会議の間だけの短時間利用でしたが、今では長時間予約して会議の空き時間などでも活用するようになり、滞在時間がかなり長くなりました。自宅でも職場でもない、サードスペースの活用はこれからも重要度を増していくと考えており、社全体で今後も積極的に利用していきたいと思っています。

ネクスジェンデジタル 代表取締役 兼 SMNアドテクノロジー事業 執行役員 谷本 秀吉 氏

コスト削減しつつ法人契約で精算も簡単に

人事総務部でオフィスのファシリティーマネージメントなどを担当しています。弊社では以前から社員数の増加によって、オフィスに座席が足りなくなっていました。コワーキングスペースなど、社員が自宅近くで仕事ができる環境を探していたのですが、そうした状況に非常事態宣言などが重なり、「テレキューブ」の活用が一気に進んだというのが利用の背景です。

法人契約が可能なこと、それによって請求書払いでの精算ができることも、会計業務として非常に助かっています。「テレキューブ」活用以前から各地のコワーキングスペースが活用できるサービスも法人契約していますが、周囲の別の利用者が気になるケースでは別料金で会議室を予約するケースもありました。「テレキューブ」はそうした会議室よりも手軽な料金設定であり、15分単位で利用時間を無駄なく使える点も、コスト削減につながっていると考えています。

SMN株式会社 人事総務部 総務課 石川 玲子 氏